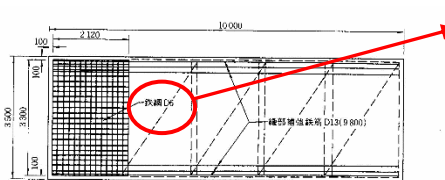
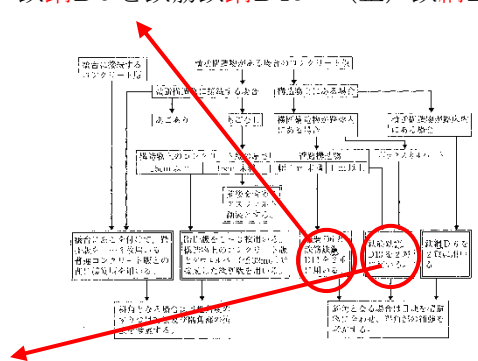


舗装設計施工指針 (H18.2) 正誤表 [1/4]

頁	箇所	誤	正																						
38	下から3行目	表-3.6.4	表-3.6.3																						
65	下から12行目	② 吊り金具、・・・高さ が 5mm以下	② 吊り金具、・・・高さ を 5mm以下																						
81	表-3.6.2 粒度調整砕石の透水係数の欄	「 $2 \times 10^{-6} \sim 6 \times 10^{-2}$ 」	「 $2 \times 10^{-6} \sim 6 \times 10^{-4}$ 」																						
82	下13行目	適切な補修の設計を行うことが必要となる。	適切な補修の設計を行うことが必要となる。																						
83	表-3.6.3	<p>下一段の罫線の区切り</p> <table border="1"> <tr> <td>クラッシュラン、鉄鋼スラグ、砂など</td> <td></td> <td>0.25~0.15</td> </tr> <tr> <td>セメント安定処理および石灰安定処理</td> <td></td> <td>0.25~0.15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">セメントコンクリート版</td> <td>破損の状態が軽度または中度の場合</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>破損の状態が重度の場合</td> <td>0.85~0.5</td> </tr> </table>	クラッシュラン、鉄鋼スラグ、砂など		0.25~0.15	セメント安定処理および石灰安定処理		0.25~0.15	セメントコンクリート版	破損の状態が軽度または中度の場合	0.9	破損の状態が重度の場合	0.85~0.5	<p>「セメントコンクリート版」は「下層路盤」に含めない。</p> <table border="1"> <tr> <td>クラッシュラン、鉄鋼スラグ、砂など</td> <td></td> <td>0.25~0.15</td> </tr> <tr> <td>セメント安定処理および石灰安定処理</td> <td></td> <td>0.25~0.15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">セメントコンクリート版</td> <td>破損の状態が軽度または中度の場合</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>破損の状態が重度の場合</td> <td>0.85~0.5</td> </tr> </table>	クラッシュラン、鉄鋼スラグ、砂など		0.25~0.15	セメント安定処理および石灰安定処理		0.25~0.15	セメントコンクリート版	破損の状態が軽度または中度の場合	0.9	破損の状態が重度の場合	0.85~0.5
クラッシュラン、鉄鋼スラグ、砂など		0.25~0.15																							
セメント安定処理および石灰安定処理		0.25~0.15																							
セメントコンクリート版	破損の状態が軽度または中度の場合	0.9																							
	破損の状態が重度の場合	0.85~0.5																							
クラッシュラン、鉄鋼スラグ、砂など		0.25~0.15																							
セメント安定処理および石灰安定処理		0.25~0.15																							
セメントコンクリート版	破損の状態が軽度または中度の場合	0.9																							
	破損の状態が重度の場合	0.85~0.5																							
84	下から6行目	(6) 補修断面の決定	(5) 補修断面の決定																						
85	上から1行目	(7) 設計上の留意点	(6) 設計上の留意点																						
106	下から3行目	開粒度アスファルト混合物	開粒度アスファルト混合物 (13)																						
121	下から2行目	タイバーア ッ センブリ	タイバーアセンブリ																						
126	表4-8-4の3列2段目 上から5行目	小粒 系 骨材露出舗装	小粒 径 骨材露出舗装																						
135	上から15行目	環境保全・改善	環境の保全と改善																						
137	上から2行目	衝撃を測定する 手法	衝撃を測定する 方法																						
140	上から19行目	凍上 抑制 対策	凍上対策																						
149	上から1行目	発注者は発注工事 毎	発注者は発注工事 ごと																						
173	付表-2.2 5列2段目	$(\log_{10}X_{wi} - \log_{10}X_0)2$	$(\log_{10}X_i - \log_{10}X_0)2$																						
193	上から4,6,7行目 式および説明文	a_i , h_i	iを下付き文字に: a_i , h_i																						
197	付表-5.1	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">セメント・コンクリート版の設計</th> </tr> <tr> <th>設計基準曲げ強度</th> <th>版厚</th> <th>鉄網</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">4.4MPa (3.9MPa)</td> <td>15cm (20cm)</td> <td rowspan="6">原則として使用する。 3kg/m²</td> </tr> <tr> <td>15cm (20cm)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">4.4MPa</td> <td>25cm</td> </tr> <tr> <td>28cm</td> </tr> <tr> <td>30cm</td> </tr> </tbody> </table>	セメント・コンクリート版の設計			設計基準曲げ強度	版厚	鉄網	4.4MPa (3.9MPa)	15cm (20cm)	原則として使用する。 3kg/m ²	15cm (20cm)	4.4MPa	25cm	28cm	30cm	2を上付き文字に 3kg/m ² ⇒3kg/m ²								
セメント・コンクリート版の設計																									
設計基準曲げ強度	版厚	鉄網																							
4.4MPa (3.9MPa)	15cm (20cm)	原則として使用する。 3kg/m ²																							
	15cm (20cm)																								
4.4MPa	25cm																								
	28cm																								
	30cm																								
200	上から5行目		段落の始まりなのにスペースが無い 横収縮目地の設置間隔は・・・	スペースを入れる <input type="checkbox"/> 横収縮目地の設置間隔は・・・																					
202	付表-6.2.2 2列4段目の欄	(10)+20+ 325 +5@40+32.5+20+(10)	(10)+20+ 32.5 +5@40+32.5+20+(10)																						
204	付図-6.2.4	<p>(誤) 鉄鋼 → (正) 鉄網</p>																							
205	上から2行目	鉄筋量は1m ³ につき	鉄筋量は1m ² につき																						

舗装設計施工指針 (H18.2) 正誤表 [2/4]

205	付図-6.3.1	 <p>(誤) 鉄鋼 D6 → (正) 鉄網 D6</p>															
206	上から 1 行目	付付図-6.4.2	付図-6.4.2														
206	付図-6.4.1	<p>(誤) 鉄鋼 D6 と鉄筋鉄鋼 D13 → (正) 鉄網 D6 と鉄筋鉄網 D13</p>  <p>(誤) 鉄筋鉄鋼 D13 を 2 層に用いる → (正) 鉄筋鉄網 D13 を 2 重に用いる</p>															
209	付式(7.1.2)	括弧が欠落 $N = \sum_{i=1}^n (N_{17} \times 365 \times a_i)$	括弧を追加 $N = \sum_{i=1}^n (N_{17} \times 365 \times a_i)$														
214	付表-8.1.2 4 列 5 行目	<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td colspan="2">舗装用素材</td></tr> <tr><td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">骨材</td><td>砕石</td></tr> <tr><td>鉄鋼スラグ</td></tr> <tr><td>スクリーニングス</td></tr> <tr><td>ファイバー</td></tr> </table>	舗装用素材		骨材	砕石	鉄鋼スラグ	スクリーニングス	ファイバー	<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td colspan="2">舗装用素材</td></tr> <tr><td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">骨材</td><td>砕石</td></tr> <tr><td>鉄鋼スラグ</td></tr> <tr><td>スクリーニングス</td></tr> <tr><td>ファイバー</td></tr> </table>	舗装用素材		骨材	砕石	鉄鋼スラグ	スクリーニングス	ファイバー
舗装用素材																	
骨材	砕石																
	鉄鋼スラグ																
	スクリーニングス																
	ファイバー																
舗装用素材																	
骨材	砕石																
	鉄鋼スラグ																
	スクリーニングス																
	ファイバー																
225	付表-8.1.15 付着度の欄	2/3 以下	2/3 以上														
226	付表-8.1.16 MS-1 の凍結安定度の欄	粗粒子、塊のないこと	MS-1 の凍結安定度の欄の記述「粗粒子、塊のないこと」を削除し、PKR-S-2 の凍結安定度の欄へ移動														
240	付図-8.2.1 2 番目の項目欄	材料の選定(材料試験) アスファルト、骨材、ファイバー	素材の選定(素材の品質確認試験) 瀝青材料、骨材、ファイバー														
243	付図-8.2.3 右下の図	空間率	空隙率														
247	付図-8.2.4 11 番目の項目欄	水セメント比を決定	水セメント比の決定														
247	付図-8.2.4 最後の項目欄	TND	END														
251	上から 5 行目	f t 28	f t ₂₈														
253	付表-8.2.8	セメント C の ④-2 の欄	140	93.7													
253		セメント C の ④-3 の欄	140	295													
256	付図-8.2.7 セメント水比の右端の目盛り	1.4	2.6														
257	付表-8.2.11 (6)	実績率	実積率														
257	付表-8.2.11 (7)	AE 助剤	AE 助剤 (商品名を記入)														
273	付表-9.2.1 4 列 1 段目	等値換算係数 an	等値換算係数 a														

舗装設計施工指針 (H18.2) 正誤表 [3/4]

278	付表-9.2.7	アスファルト舗装とコンクリート舗装に再生セメント・瀝青安定処理を追加					
		項目 適用	工法・材料	修正CBR %	一軸圧縮 強さMPa	マージナル 安定度KN	その他の品質
		アスファルト 舗装	再生粒度調整碎石	80以上 [90以上]			PI4以下
			再生加熱アスファルト 安定処理			3.43以上	フロー値10~40 (1/100cm)
			再生セメント処理		材令10日 2.9		
			再生石灰処理		材令7日 0.98		
			再生セメント ・瀝青安定処理				一次変位量5~30 (1/100cm) 残留強度率65%以上
		コンクリート 舗装	再生粒度調整碎石	80以上 [90以上]			PI4以下
			再生加熱アスファルト 安定処理			3.43以上	フロー値10~40 (1/100cm)
			再生セメント処理		材令10日 2.0		
			再生石灰処理		材令7日 0.98		
			再生セメント ・瀝青安定処理				一次変位量5~30 (1/100cm) 残留強度率65%以上
293	付表- 9.4.5	1列5段目	蒸発残留分	1/10mm	蒸発残留分	%	
		1列6段目	針入度 (25℃)	%	針入度 (25℃)	1/10mm	
		1列8段目	貯蔵安定度 (24hr)		貯蔵安定度 (24hr)	%	
309	下から5行目		K_p		k_p		

2010/2/4 追加修正

頁	箇所	誤	正
14	表-1.4.1		図書情報を更新
40	表-2.4.4 ひび割れ線 上ひび割れ (走行軌跡 部縦方向)	わだち割れ	混合物の劣化・老化
52	上から3行目	脆弱化	軟弱化
72	図-3.6.1	<pre> graph TD A{寒冷地域} </pre>	<pre> graph TD A{寒冷な地域か} B[→法令上の用語と区別するため] </pre>
76	図-3.6.3	<pre> graph TD A[多層弾性理論による計算 (ひずみ等)] --> B{i=k} B --> C{経済的評価} </pre>	<pre> graph TD A[多層弾性理論による計算 (ひずみ等)] --> B[破壊規準式による 破壊回数の計算] B --> C{i=k} C --> D{力学的安定性} D --> E{経済性評価} </pre>

舗装設計施工指針 (H18.2) 正誤表 [4/4]

77	図-3.6.4	交通条件 輪荷重分布 車輪走行位置 コンクリート版温度差が正 または負のときに走行する 交通量	交通条件 輪荷重分布 車輪走行位置 コンクリート版温度差が正 または負のときに走行する 大型車交通量の比率
157	表-6.4.1		「平たん性」「浸透水量」の欄を削除
158	表-6.4.2		同上
243	付図-8.2.3		・飽和度のグラフの横軸にアスファルト量を追記. 5.0 5.5 6.0 6.5 7.0 アスファルト量 (%) ・フローのグラフの点線のアス量5.3%付近がピークとなるように変更し、ピークに点をプロット。(飽和度のグラフのように) →p.245②にこれに関する説明記述があるため.
243	付図-8.2.3 一番右下のグラフ	空間率	空隙率
298	付表-9.5.1		「平たん性」の欄を削除
299	付表-9.5.2		同上
303	付表-9.5.5		「平たん性 mm」「2.4以下」を削除
309	付式 (5.1)	$n = \left(1 + \frac{\kappa}{2} \right) \left(\frac{k_{\alpha} + k_{\beta}}{K_{p0} + k_{p1}} \right)$	$n = \left(1 + \frac{\kappa}{2} \right) \left(\frac{k_{\alpha} + k_{\beta}}{K_{p0} - k_{p1}} \right)^2$
311 -312	付表-10.1.1		・「平たん性」「浸透水量」の欄を削除. ・[注2]を削除
341	上から3行目	路盤のくい込み	路盤にくい込み
	協会出版図書案内の 図書のページ数	舗装設計施工指針→342 舗装設計便覧→338	舗装設計施工指針→345 舗装設計便覧→316

2021/4/22 追加修正

頁	箇所	誤	正
138	5-3設計 上から3行目	39kN 程度以下の管理用車両	最大積載量が 39kN 程度以下の管理用車両

2023/10/10 追加修正

頁	箇所	誤	正
68	表-3.5.1 「透水性」の行	水質系材料	木質系材料
69	表-3.5.2 「明色性」の行	石質タイル	石器質タイル
70	表-3.5.3 「予防的維持」の行	アスファルト系材料	アスファルト系材料 (表面処理型)

舗装施工便覧 (H18.2) 正誤表 [1 / 1]

頁	箇所	誤	正
5	表-1.2.1	舗装 施工 便覧	舗装 設計 便覧
5	表-1.2.1	鋼道路橋塗装・防食便覧 平成18年2月	鋼道路橋塗装・防食便覧 平成17年12月
21	表-3.3.3 薄膜加熱後の針入度残留率	6.5以下	6.5以上
84	表-5.3.1[注1]	1,000台/日・ 一方向	1,000台/日・ 方向
94	6-2-2(2)1)	粗粒度アスファルト混合物	粗粒度アスファルト混合物(20)
97	図-6.3.1 2番目の項目欄	材料 の選定(材料試験) アスファルト 、骨材、フィラー	素材 の選定(素材の品質確認試験) 瀝青材料 、骨材、フィラー
119	表 7.2.1	ポーラスアスファルト混合物の・・・	ポーラスアスファルト混合物(20,13)の・・・
120	6)	設計アスファルト量は、本章の「7-2-3 設計アスファルト量の設定 」に従って設定する。	設計アスファルト量は、本章の「7-2-3 配合設計の手順 」に従って設定する。
124	表 7.2.3	ポーラスアスファルト混合物の・・・	ポーラスアスファルト混合物(20,13)の・・・
153	上から3行目	パーア ッ センブリ	パーアセンブリ
159	下から1行目	パーア ッ センブリ	パーアセンブリ
162	下から5行目	なまし鉄線	焼き なまし鉄線
188	15行目	遮水性の層	不透水性の層
220	上から8行目	図 9.3.3	図 9.4.3
220	図-9.3.3の図番号	図 9.3.3	図 9.4.3
246	11行	しがって	したがつて
253	表-10.3.1	上層路盤、安定処理、セメント・瀝青安定処理、石油アスファルト乳剤、表-3.3.6	上層路盤、安定処理、セメント・瀝青安定処理、石油アスファルト乳剤、表-3.3.7
260	表-10.4.1	コンクリート版、厚さ、 100m ごと	コンクリート版、厚さ、 40m ごと
260	表-10.4.1	コンクリート版、幅、 40m ごと	コンクリート版、幅、 100m ごと
272	表-11.3.1 8行目	線上に発生したひび割れに沿って、	線上に発生したひび割れに沿って、
278	表-11.4.1	切削オーバーレイ工法概要の欄13行目 「・・・のみでなく 遮水性 の層も・・・」	「・・・のみでなく 不透水性 の層も・・・」
279	図-11.4.1		空隙づまり洗浄
279	11-4-4 9行目	「・・・、基層が 遮水層 を兼ねる・・・」	「・・・、基層が 不透水性 の層を兼ねる・・・」
301	下から3行目	アスファルト 10kg	アスファルト 計量器 10kg
303	上から3行目	木わく	木枠
303	上から16行目	アスファルト 10kg 間隔	アスファルト 計量器 10kg 間隔
303	上から17行目	フィラー計量 10kg 間隔	フィラー 計量器 10kg 間隔
321	上から1行目	5 表面仕上げ機械	5 表面仕上げ機械 例
324	諸元例	敷きならし厚さ m	敷きならし厚さ cm
324	諸元例	エンジン出力/回転数 s/rpm	エンジン出力/回転数 Ps /rpm
329	例1-3-1の図		
330	例1-4-2(1)の図	ポーラスアスファルト混合物層	ポーラ ス アスファルト混合物層
331	例1-4-2(2)の図	ポーラスアスファルト混合物層	ポーラ ス アスファルト混合物層
331	例1-4-2(3)の図	ポーラスアスファルト混合物層	ポーラ ス アスファルト混合物層
366	上から5行目	表層舗装材料	表層材料